

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



大地震発生後の事業所に必要な活動

大地震が発生したときの、必要な行動についてまとめました。
準備が十分であるか、確認してみてください。



① 地震発生



自分の命を守る

- ・体勢を低く保つ
- ・頭を守る
- ・揺れがおさまるまで動かない



② 揺れがおさまったら



情報収集

地震の情報、周辺の情報を収集しましょう



安全確認

建物の破損箇所、ライフラインが使えるか確認しましょう



安否確認

従業員とその家族の安否を確認しましょう



応急手当

負傷した従業員の手当を行いましょう

●Point！

連絡が取れない場合、集合場所を決めておく等、従業員が自発的にできる行動を事前に定め、周知しておきましょう。

③ 安全が確認できたら

一時滞在の準備をしましょう



トイレ設置



備蓄配布・管理



スペースの確保

●Point！

事前に誰が何の準備を担当するか計画しておきましょう。

④ 3日間待機



情報発信

お客様や取引先に事業所の状況をお伝えしましょう



BCPの確認・実行

従業員全員で今後の動きを確認し、実行しましょう

●BCP(事業継続計画)とは？

BCPは、緊急事態が発生したときに事業を継続し、早期に復旧させるための計画です。平常時の準備と緊急時の対応について、事前に策定しておきましょう。

⑤ 安全が確認できたら、帰宅開始



従業員の役割分担

出社して復旧作業をする人とテレワークで通常業務を行う人を分ける等、出社が必要な従業員を決めましょう

BCPの実行

●Point！

3日間の待機後、交通機関の再開等により帰宅が可能になった場合は、分散帰宅を勧めます。事前に帰宅開始の順序等を決めておくとういでしょう。



大地震発生後のライフライン復旧目安

下記、ライフライン復旧目安も参考に、活動計画を立てましょう。

ライフライン	復旧目標日数	ライフライン	復旧目標日数
電気	6日程度	ガス	55日程度
水道	30日程度	通信	14日程度

東京消防庁からののお知らせ

東京消防庁では、毎月、季節やそのときどきで問題になる防災にまつわる事柄をテーマに情報発信をしています。今月は「**ネットで自衛消防訓練**」をピックアップしています。是非ご覧ください！

東京消防庁HP →



参考：内閣府『被害想定結果について』